

## Chapter 1 WWW、電子メール

1 回目は、今後の学生生活で不可欠な、電子メールと WWW の利用法などを学びます。

### 1. WWW の利用

#### 1-1 WWW の概要

WWW とは、World Wide Web の略称で、一番馴染みのあるものだと思います。WWW はよくご存知の様に、グラフィックスやテキスト（文字）情報を公開したり閲覧したりする技術で、主に次の公開側・閲覧側 2 つの要素で構成されます。

##### 1. WWW サーバー（公開側）

これは表示する情報を記録していて公開している機能を持った、コンピュータのことを指します。この様に、様々なサービスを提供するコンピュータのことを、「**サーバー**」と呼びます。サーバーには表示される「**Web ページ**」を複数設置する事が出来ます。これらのページを参照する為の住所が **Web アドレス** です。例えば、

[www.asahi.com](http://www.asahi.com)

というのは朝日新聞社が提供している **Web ページ** のアドレスになります。我々読者は、朝日新聞社の **Web サーバー** にアクセスしてページを閲覧することになります。通常、**Web サーバー** は自分が目の前に座っているコンピュータ（「**ローカル PC** と呼ぶ）ではなく、どこか離れた場所にあつて「**インターネット**」という名前の専用回線網でローカル PC とつながっている、「**リモートサーバー**」がその役割を果たします。リモートサーバーは世界中に非常に多数設置されていて、膨大な情報がほぼ自由に公開されています。

##### 2. Web ブラウザ（閲覧側）

ブラウザ(**browser**)とは、拾い読みをするという意味の **browse** からわかるように、**Web ページ** を閲覧する為のツール（道具）です。代表的なものに、**Windows** に付属している、「**インターネットエクスプローラ**」があります。ブラウザはローカル PC を制御している、**Windows** の上で動作する、「**アプリケーション**」の一つです。**Web ブラウザ** を動作させる **PC** の様に、ネットワークを通じて別のサーバーに単に命令を送ったり受けたりする場合、しばしば「**端末**」と呼ばれます。

#### 1-2 WWW の利用

利用と言う意味では、情報を提供する側の方法も学ぶ必要がありますが、ここではまず、既に他の人が作成して公開されている **Web ページ** の閲覧だけをやってみましょう。起動している **Windows** の画面から、インターネットエクスプローラをクリックして起動しましょう。

閲覧したページのアドレスを、アドレスと書かれた部分にキーボードでタイプします。例えば、アドレス欄に

**www.asahi.com**

と打ち込むと、朝日新聞のトップページに画面が切り替わります。その時、アドレス欄をみると

**http://www.asahi.com/**

と、先頭に

**http://**

という打ち込んだ覚えのない文字列が勝手に付け加えられていると思います。これは、ブラウザに **www.asahi.com** というのは Web ページだよ、と指示している部分なのです。インターネットエクスプローラは、Web ページの閲覧以外に、ローカル PC に置いてある WWW とは別の種類の情報も閲覧する機能があるので、これは Web ページなんだよ、と指示する必要がある訳です。ですので、一般に Web ページのアドレスは

**http://www.asahi.com/**

という形で表記するのが正式です。現在では、ブラウザは通常 Web ブラウザとして使用するので、毎回 **http://** と手で入力する手間を省くために、勝手に補ってくれる機能がインターネットエクスプローラにはあるのです。Web ページのアドレスは「URL」と呼ばれることもあります。URL をインターネットアドレス、などと書いた、インターネットと WWW を混同している表記をしばしば目にしますが、WWW はインターネット上で利用できる一つの技術にすぎないので、正しくありません。

Web ページ上には、「**リンク**」と呼ばれるボタンの様なものが通常あって、これをクリックするとアドレス欄に打ち込まなくても予め設定された Web ページにジャンプする事が出来ます。

例えば、

**http://www.rikkyo.ac.jp**

にアクセスすると、立教大学のトップページが表示されます。通常、大きな団体のトップページのアドレスは上記のような形をしています。が、立教大学のトップページから例えば左上のメニューの「**在学生の方**」をクリックするとページが切り替わり、アドレス欄は

**http://www.rikkyo.ac.jp/current\_students/**

の様にかなり複雑になります。これは、

**http://www.rikkyo.ac.jp/current\_students/**

前半はトップページと同じで、立教大学の Web サーバーであることを示しており、後半部分はその下の、番地のようなものをさしています。

### 例題-1

[www.google.co.jp](http://www.google.co.jp) にアクセスし、立教大学 SPIRIT を検索してページを探す。

### 1-3 携帯電話のブラウザの利用

WWW やこの後に使う電子メールなどは、インターネットに接続された計算機を使ったツールとして開発されました。しかし、最近では携帯電話が小型の計算機端末と考えることが出来るほど発達し、上記の WWW ブラウザやメールの利用も完全に普及し終わりました。携帯電話の画面表示能力はまだまだパソコンには劣るので一般に得られる情報に多少の制限はあります。

パソコンの情報検索でもっともよく使われている Google は、携帯電話向けの

<http://www.google.co.jp/imode>

というサイトを用意しており、利用価値は非常に高いです。

また、携帯電話のブラウザを使った、mobile V-Campus という携帯向けサイトがあるので、それに登録しましょう。休講情報などを確認することが出来るので便利に使えるでしょう。



<http://m.rikkyo.ac.jp/>

## 2 電子メールの利用

既に殆どの人が電子メール (E-Mail と呼ぶ) を日々利用していると思います。WWW があるサーバーに置かれた情報を一方的に閲覧するだけの静的なシステムであるのに対して、電子メールは電子メールを送信するサーバーから、受信するサーバーへ送り届ける、一回きりの動的なサービスです。電子メールの利用法には様々な形態がありますが、一番多く利用しているのが下記のような携帯電話を使った電子メールの送受信でしょう。

<例 1> A 君がドコモの携帯電話のメールサービスを使って B 君の AU の携帯電話へメールを送信する。

[A-kun@docomo.ne.jp](mailto:A-kun@docomo.ne.jp) から [B-kun@ezweb.ne.jp](mailto:B-kun@ezweb.ne.jp) へメールが送られる。

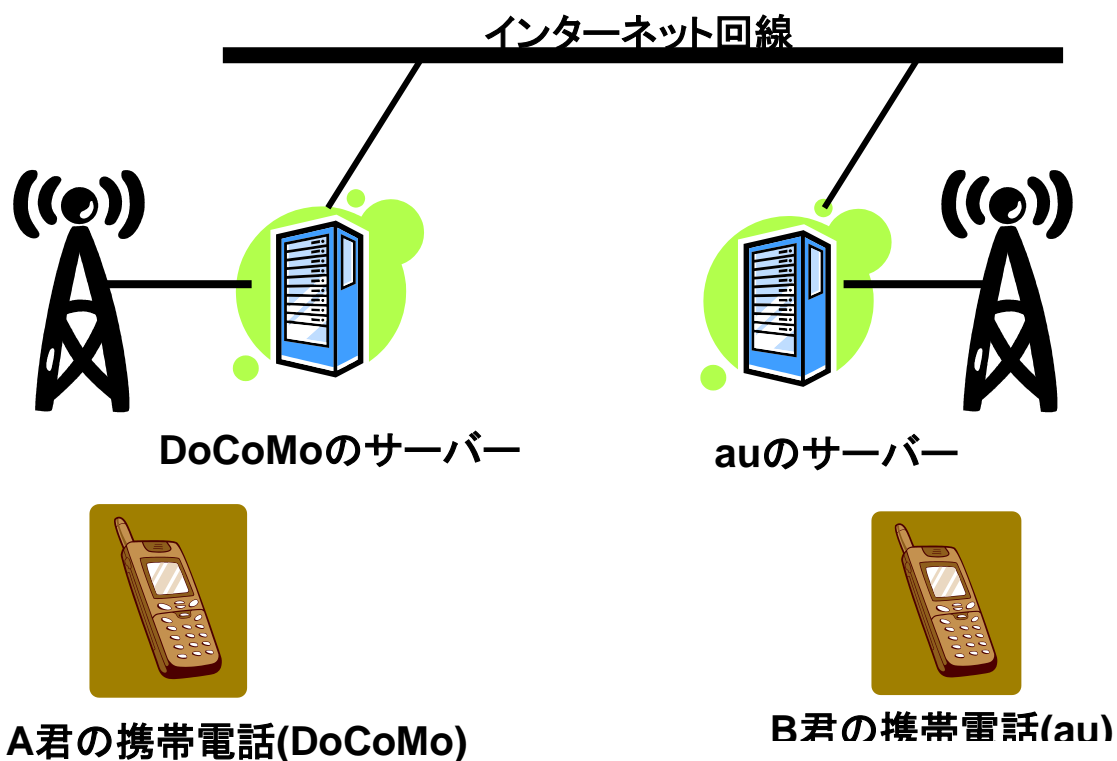
この場合、A 君の携帯が送信サーバー、B 君の携帯が受信サーバーとなります。厳密に言えば携帯電話はサーバーと呼べるほどの機能は持っていないので、A 君はメールを一旦ドコモのメール送信サーバーに送信要求を送り、ドコモの送信サーバーが AU のメール受信サーバーに向けてメールを送信します。メールを受けた AU の受信サーバーは B 君の携帯に向け

てメールを送りつける、という事をやっています。実は、

**A-kun@docomo.ne.jp**

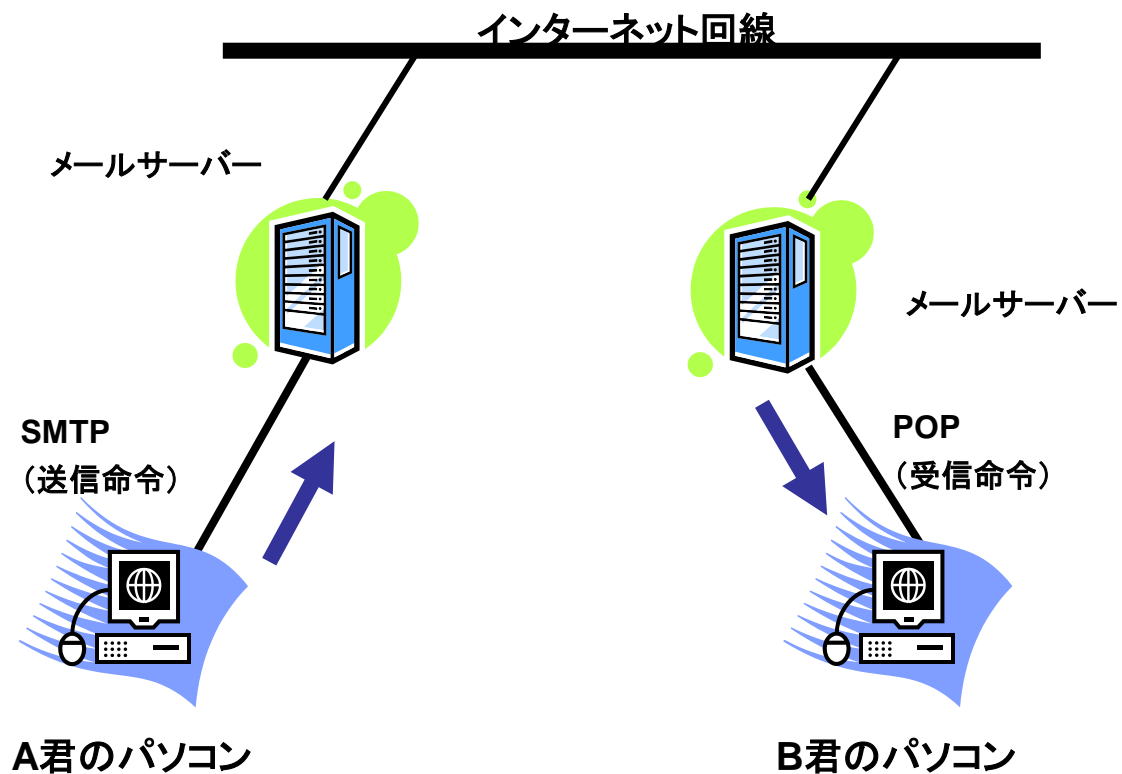
というメールアドレスの@以降の部分、**docomo.ne.jp** は Web アドレスに似ていますね。

これはメールサーバー自身のアドレスなのです。**A-kun@docomo.ne.jp** はドコモのメールサーバーの中の、A-kun という番地、という意味なのです。



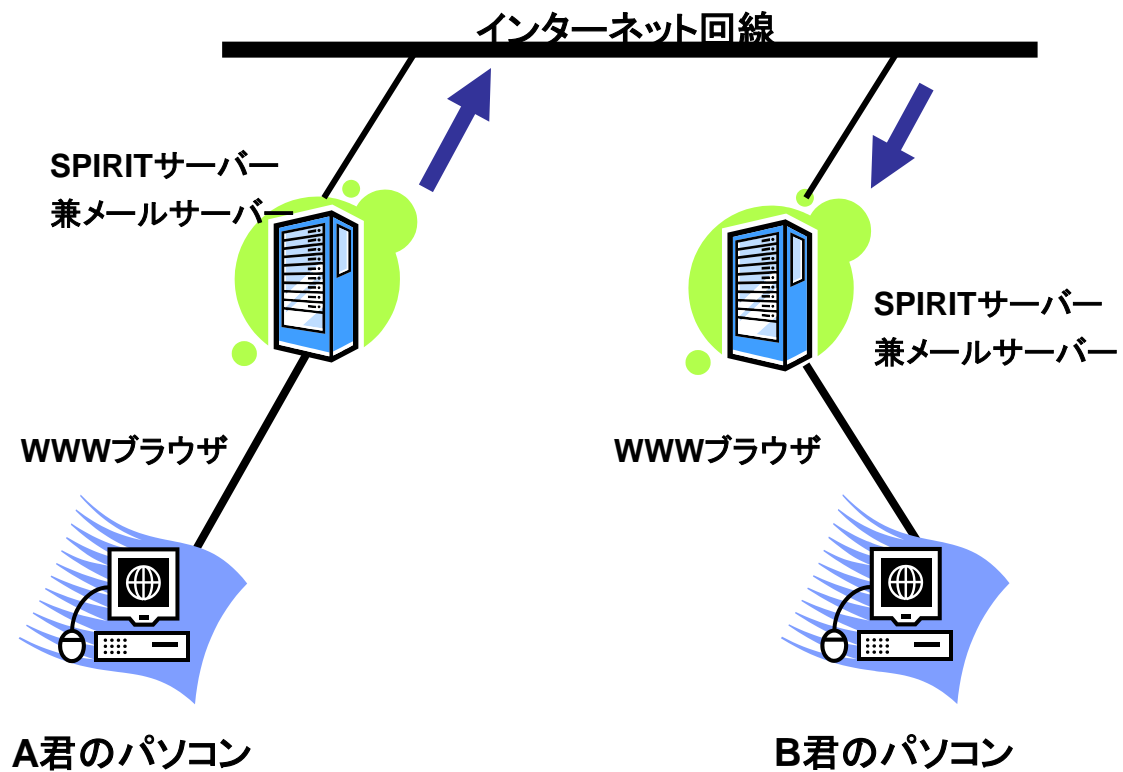
<例2> A君が自宅のメールソフトを使ってB君のパソコンのアドレスにメールを送る。

この場合も、自宅のPCはサーバー自身ではなく、サーバーに要求を送ったり情報をもたらしたりする端末です。A君は送信サーバー（SMTPサーバー）に要求を送り、B君は受信サーバー（POPサーバー）にメール受信要求を送って、メールを受け取ります。



例3 A君がSPIRITを使ってB君の立教のアドレスにメールを送る。

さて、この場合は、A君はローカルPCから、WWWを利用してメールサーバーへ直接接続し、メールサーバーから直接メールを送信します。B君は、携帯やローカルのPCにメールを送ってもらうのではなく、SPIRITを利用してメールサーバー上に置いてあるメールを閲覧します。



#### 例題-2

自分の携帯電話から、各自の大学のメールアドレスに何でもよいのでメールを送る。

**10cb0xxx@rikkyo.ac.jp**

という様なアドレスをもらっているはずです。これから、大学からの連絡などが入るようになりますので、使えるようにしておきましょう。

#### 例題-3

SPIRIT 上で、携帯から送ったメールを読む。

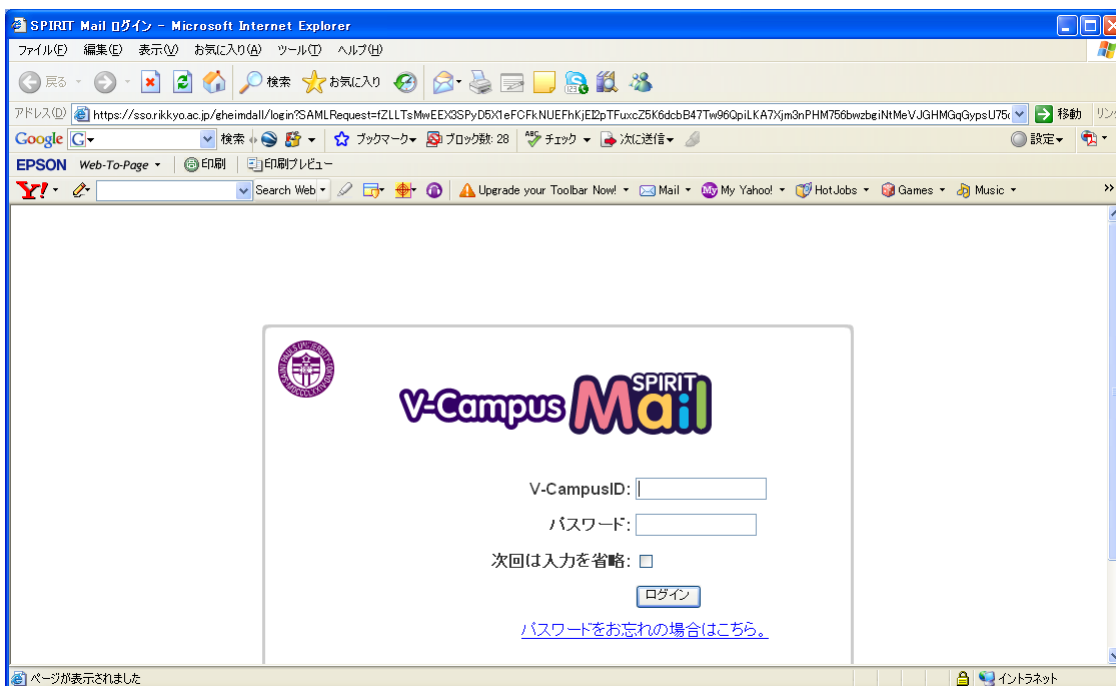
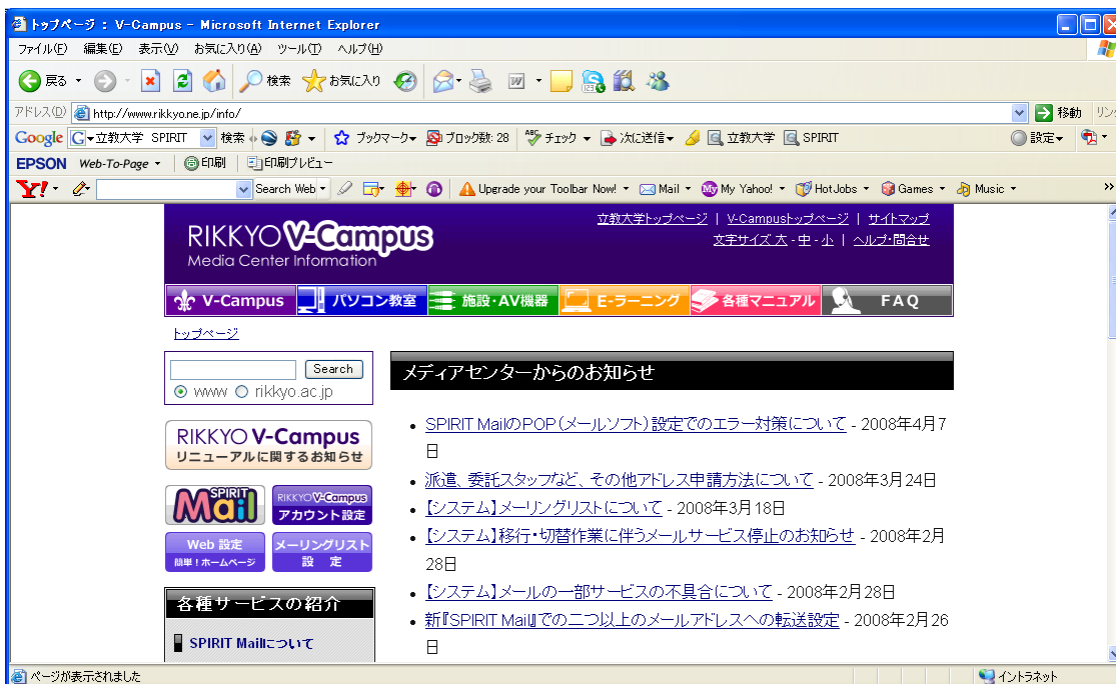
SPIRIT 上でメールの送受信を行うには、SPIRIT メールをクリックします。あるいは、

<http://webmail.rikkyo.ac.jp>

で SPIRIT のポータルサイトを経ずに直接アクセスできます。

V-Campus のホームページ <http://www.rikkyo.ne.jp/info/> にいき、

「SPIRIT MAIL」をクリックする。



ここで、ユーザー名とパスワードを入力してください。  
メールが届いていれば受信箱のリストにメールがあるはずです。

SPIRIT のメール機能は、自宅の PC でなくても、また携帯を持っていなくても利用できるのもとても便利ですが、反面、自分から積極的に SPIRIT メールにログインして確認しないとメールが届いていることに気づきません。送ったはずなのにメールを読んでいない人というのは信用をなくしますので、確実に SPIRIT メールを毎日チェックするか、下記のように携帯や自宅の PC で読むメールアドレスに「転送」するようにしておきましょう。大学からの連絡なども、このアドレスに送られますので、この機会に転送設定をしておいてください。今後の大学生活で、大学からの連絡は大学のメールアドレスに送られますので、必ず確認出来るよう、毎日確認出来る携帯電話のメールアドレスなどに転送設定する様にしておいてください。

#### 例題-4

SPIRIT で、メールの転送設定を行い、自分の携帯アドレスを登録する。

メールの転送やその他の設定変更は、画面右上の「設定」を選んで出てくる画面で行うことが出来ます。「メール転送と POP/IMAP」の部分で転送先のアドレス入力欄に携帯のアドレスを入力してください。

#### 例題-5

もう一度、自分の携帯電話から各自の大学のメールアドレスにメールを送る。しばらくして、自分の携帯に送ったメールが転送されてくるのを確認する。

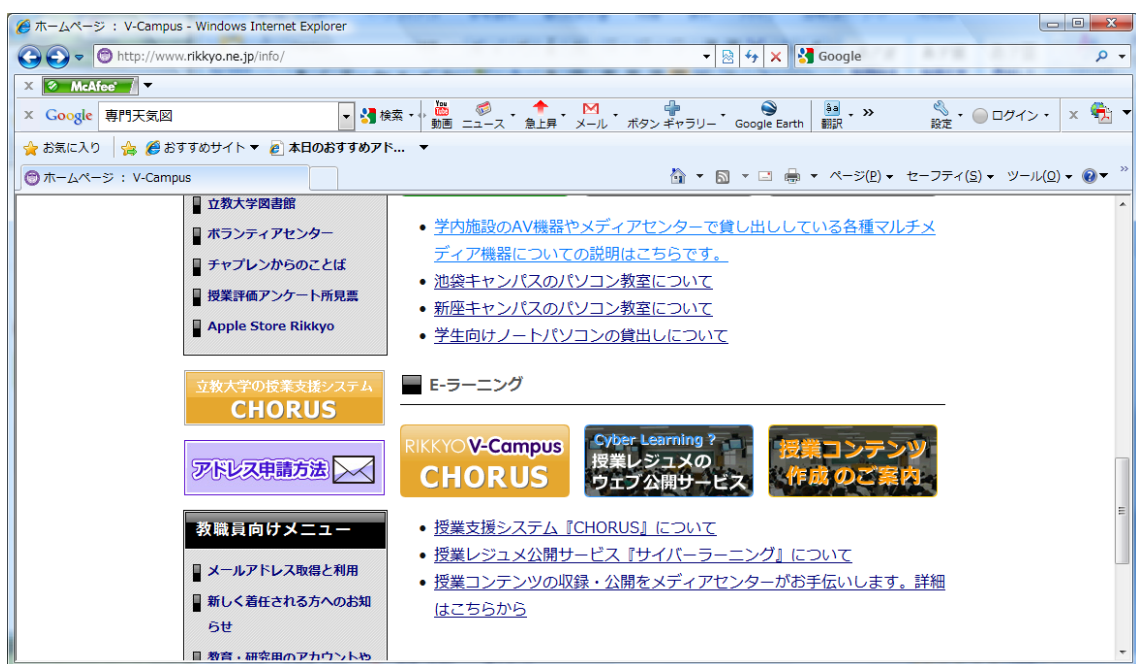
### 3 CHORUS の利用

CHORUS というのは立教大学が提供する、授業支援に特化したサービスで WWW を使って教材配布やレポート提出などを総合的に行うシステムです。今後多くの授業で使用されますので、その利用法を学びます。

#### 3-1 CHORUS にログインする。

SPIRIT と同様、CHORUS の利用にもログインが必要になります。CHORUS にアクセスするには、V-Campus の画面で「CHORUS」を選んでクリックしてください。





別の方法は、SPIRIT からではなく、直接ブラウザのアドレス欄に

**chorus.rikkyo.ne.jp/itsclass**

と打ち込んでください。

### 3-2 授業の選択

CHORUS にログインし、左下の「検索ページへ」をクリックすると、授業の検索画面が表示されるので、例えば「講義名」に「コンピュータ実験」と入力して「検索」をクリックする。

すると、この授業が見つかるので、クリックすればよい。

「コンピュータ実験 1」のページに入ったら、早速「教材」メニューから第一回目の教材（この文書）を「ダウンロード」（サーバーからローカルに取ってくる）しよう。次回以降は、教材は各自、この手続きを踏んで入手すること。

#### 例題-6

今読んでいる、この教材ファイルをローカルに保存する。「教材」メニューを選択してダウンロードしてください。

#### 4 添付ファイルの送受信、ネットワークを介したファイルのやりとり

WWW や電子メールは、メールに書かれた文字や画像を画面で見ただけの機能ですが、ここではファイルの形で直接情報をやりとりする方法をやってみましょう。一番簡単な方法は、メールの添付機能を使うものです。

**ファイル**というは、コンピュータの上に情報を記録する際に、殆どの場合最小となる単位です。メモリ上にゼロと1で書かれた情報を「文字」と思うと、ファイルは文字の記録された「文書」に相当します。また、これらのファイルをまとめた**フォルダ**という単位もあり、これは「封筒、フォルダ」に相当するものです。

##### 課題 1

自分の携帯電話のカメラで自分の写真を取り、各自の大学のメールアドレスにメールで送信する。SPIRIT でメールを受け取り、添付ファイルとして送られてきた自分の写真を画像ファイルとして「マイドキュメント」フォルダに保存する（ローカルに保存）。メールを開いて「ダウンロード」を選択すればよいです。

カメラ付携帯を持っていない場合は、隣の学生に借りてください。この写真は次回、レポート作成時に使用します。

リモートサーバーからローカルにファイルを受け取ることを、**ダウンロード**する、と呼びます。逆に、ローカルに置かれたファイルをリモートサーバーに送りつける事を、**アップロード**する、と呼びます。

今日は、8号館コンピュータ教室のコンピュータの使用法、Windows の起動と終了の仕方、アプリケーションソフトとしてのインターネットエクスプローラ、及びそれを用いたWWW とメールの利用法などを学びました。

コンピュータ教室のコンピュータには、インターネットエクスプローラ以外に多くのアプリケーションソフトウェアが「**インストール**」(使えるように組み込むこと)されています。電源ボタンなど、本体をいじらずにマウスとキーボードで作業をする限り、何かを壊してしまうことはまずありませんので、空いた時間に自由にどんなものが入っているか遊んでみてください。